

令和3～6年度使用中学校教科用図書採択種目・発行者及び理由

種目	国語	発行者	光村図書出版株式会社
			<ul style="list-style-type: none"> 各教材で、「見通しを持つ」ところから「振り返る」までの一連の流れが明示されていて、学習過程の流れをつかむことができる。 「広がる読書」「本の世界を広げよう」のコーナーで、読書への興味を引き立てるとともに、「読書生活を豊かに」のコーナーは、小説の続きを読みたいという意欲を抱かせるものである。 思考を深める、広げる、整理するという観点を基に、マッピングやブレインストーミングなど、具体的な思考ツールを紹介しており、展開の方法なども解説している。 古典の教材はスタンダードな中学生らしい題材を取り上げている。 教材の配列について系統性があるような工夫がされている。
種目	国語（書写）	発行者	光村図書出版株式会社
			<ul style="list-style-type: none"> 各教材で、学習の目標と振り返りが提示されており、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。 手紙やメール、はがき、履歴書、送り状など、日常生活に役立つ内容が詳しく掲載されているので、長く手元に置いておきたい教科書である。 「全国文字マップ」で身近にある文字を取り上げたり、コラムでユニバーサルデザインを紹介したりするなど、文字についての興味を持てる工夫がある。 2次元コードにより書き順や運筆を動画で参照できる。
種目	社会（地理）	発行者	株式会社帝国書院
			<ul style="list-style-type: none"> 表紙の見開きに、SDGsの17の目標を写真とともにわかりやすく示しており、現在の日本や世界が抱えている問題への意識付けができると思われる。 生徒が異文化や国土への理解を深めて、グローバル化する国際社会の中で活躍するための主体的な取組や深い学びにつながるような構成の工夫がある。 それぞれの地域に暮らす人々の姿、自然環境や文化、産業などを多面的に見ることで、地域の特色への理解が深まるように示されている。 日本の各地を体感できるイラストや地図、さらに新鮮な驚きを生み出す写真を効果的に扱うことにより、生徒にとって親しみやすいものとなっている。 節の振り返りでは、地理的な見方・考え方を説明する場面が多く設定されており、思考力・判断力・表現力を養うことができるようになっている。
種目	社会（歴史）	発行者	株式会社帝国書院
			<ul style="list-style-type: none"> 章の扉にある「タイムトラベル」で、イラストで時代のイメージを視覚的に捉え、人々の営みを当時のまちの姿に落とし込みながら、生徒が興味を持って学ぶことができる。 巻頭に、「人々が置かれた状況や、多様な願いへの理解を深めることにより、人々の様々な立場とその多様性を踏まえた未来の社会の成長を考えていくことができる。私たちは未来のために歴史を学ぶ」という趣旨が書かれている。 各ページにある「確認しよう」「説明しよう」で、自らの考えを表現することを促すことにより、主体的な学びにつなげることができる。 様々な資料の使い方について、人の生きている姿が重なってきて、それが歴史を編んでいるというような人間の息遣いが感じられる。

種 目	社会（公民）	発行者	株式会社帝国書院
<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブ公民」で、現実の社会で起こりうる事例を通して、ロールプレイングやディベートなどを使って課題を追究していくことで、言語活動の育成とともに、思考力・判断力を養い、深い学びにつなげるように工夫されている。 ・各見開きの導入資料は、迫力のあるワイドな写真や生徒に身近な事例を取り扱って、生徒が実感を伴って本文の理解が容易になるような工夫がされている。 ・「先輩たちの選択」では、多種多様な方々のインタビューが掲載されており、キャリア教育の一助になる。 ・「Yes No」というコラムで両論併記をしているものがあり、今の社会について中学生が考えるきっかけになる。 			
種 目	地図	発行者	株式会社帝国書院
<ul style="list-style-type: none"> ・大判化により紙面がとても見やすく、場所を探しやすい。 ・巻頭の「地図活用のコーナー」で、地図から読み取る学習活動や言語活動を促す工夫を取り入れている。 ・色使いが柔らかく全体的にすっきりしており、イラストを多数取り入れていることから、視覚的に必要な情報を読み取りやすいつくりになっている。 ・自然災害の発生の過程から被害対策等、防災への関心を高めるような資料が充実している。 			
種 目	数学	発行者	学校図書株式会社
<ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入部分の見開きページで、その単元の問題を中学生が身近に感じられるような題材により、自ら課題を見つけ、取り組めるように配慮している。 ・わかりやすく、段階的に学ぶことによって、達成感が得られるような構成になっている。 ・数学を実生活に生かすという点に力点を置き、学びについての意欲、動機付けにもつながるようなコーナーが充実している。 ・図や表から数式を求めたりするような具体的な課題を取り扱うことにより、数学の有用性を実感しながら学べる構成になっている。 			
種 目	理科	発行者	大日本図書株式会社
<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」では、学んだことを生かして自分で実験することにより、学びを広げられるような工夫がある。 ・「探究活動」では、課題を発見し、観察実験を通して課題を解決するという理科の面白さが伝わるような内容になっている。 ・単元の導入部分では、既習事項がイラストや写真を使って楽しくまとめられていて、復習しやすい構成になっている。 ・「発展」マークのところでは、当該学年以上で学ぶ内容が載っていて、理科に興味のある生徒により発展的な学びを提供することができるようになっている。 ・「くらしの中の理科」が各学年で豊富に掲載されており、理科で学習することは身の回りとながっているということを、生徒自身が意識できるように構成されている。 ・実験や観察の記録の取り方やノートを描き方が丁寧に説明されており、科学的な記録の仕方が身に付くようになっている。 			
種 目	音楽（一般）	発行者	株式会社教育芸術社
<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの吹き出しで適時学習のポイントやヒントが示されており、思考を深めるサポートになっており、話し合いや対話のイメージをしやすくして、主体的・対話的で深い学びを促している。 			

<ul style="list-style-type: none"> ・発声方法について大きなイラストを用いているとともに、変声期についても丁寧な説明があり、配慮された内容になっている。 ・著作権の記述について、自分ごととして捉えられるように説明されている。 ・ワークシート中に「どのように歌いたいか」等、主体的に音楽に親しむ投げかけがあり、書きやすい工夫がある。 ・曲の配列も適切で季節感に溢れている。 			
種 目	音楽（器楽）	発行者	株式会社教育芸術社
<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの使い方について、小学校の学びを生かしており、苦手意識を持つ生徒でもスムーズに入れる工夫がある。 ・現在活動している音楽家の言葉が掲載されており、音楽の世界を通じて多様な価値観が学べるようになっている。 ・音楽文化の理解について、和楽器に取り組む中学生の様子などさまざまなジャンルの合奏曲や楽器を取り上げており、各自の興味に合わせて学びを深めていくことができる。 ・音楽と同一の出版社である方が指導者も生徒も扱いやすいと考えられる。 			
種 目	美術	発行者	光村図書出版株式会社
<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の学習の内容を相互に関連させながら、学びを深めて、発想を伸ばすことができるように工夫されている。 ・「皆の工夫」では、実際の生徒の制作過程を詳しく紹介しており、試行錯誤しながら制作する様子を、自分の表現の参考にすることができる。 ・鑑賞で「最後の晩餐」の題材のページにトレーシングペーパーがはさまれており、生徒自ら遠近法を実感することができる。 			
種 目	保健体育	発行者	大日本図書株式会社
<ul style="list-style-type: none"> ・ページの左側に理論が、右側に実際に活用する方法が書いてあり、健康に対する知識や生活への実践が身に付くような工夫がある。 ・自然災害について大きな写真を使ってインパクトのある取り上げ方をしており、もしもの時のための備え等、現在の課題に対応している。 ・心肺蘇生法の実技に関して、写真で詳しく分かりやすく解説してあり、確実に技能を身に付けることができるような工夫がある。 ・全編を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養う意図が見受けられる。 			
種 目	技術	発行者	東京書籍株式会社
<ul style="list-style-type: none"> ・巻末特集の「SDGsとTechnology」では、SDGsについてもわかりやすく述べており、SDGsに取り組んでいる小田原市で扱うのにふさわしい。 ・ブレインストーミングやKJ法などの多彩な学習法を紹介しており、生徒同士が意見を言い合いながら理解していける。 ・各章の「学習のまとめ」では、実生活と関連させ、全体的に、過去や現在を踏まえて未来につながっていくという視点でまとめられている。 ・「技術の最適化」や「技術の光と影」で、エネルギー変換の技術には生活を豊かにする光の側面がある一方、環境への負荷や事故の危険性などの影の側面があることも明確に示されていて、今を生きる我々にとって大切なメッセージとなっている。 ・ネットリテラシーを重視している。また、プログラミング学習については、伝言板システムなど比較的簡易なものから、農業のシステムやロボット掃除機という高度なものまで扱っており、生徒の興味や進度に応じた学習が進められるようになっている。 			

種 目	家 庭	発 行 者	東 京 書 籍 株 式 会 社
<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラスト、図表などがわかりやすく、視覚的な資料が充実しており、多彩な実習例が豊富に揃えてある。 ・「伝統文化のマーク」があり、日本の伝統文化への理解を深め、後世に継承していきたくなるような内容が充実している。特に、日本各地の郷土料理を各県ごとに写真で示すなど、視覚的にわかりやすく工夫されている。 ・各章の導入では、生活の営みに係る見方や考え方が例示してあり、多角的な視点から考えたり、判断したりして問題解決に取り組めるようになっている。 ・巻末の「防災・減災手帳」は、そのまま実生活に活用でき、命の大切さを伝えることができる。 ・消費生活における基本的な知識や、中学生が巻き込まれそうな事案についても掲載し、注意を促している。 ・抽象化し、汎用性があるような形で家庭の機能について説明をしており、将来、社会の形成者として成長していく生徒にとって、家庭を中心に、地域に広がり、もっと大きい社会に広がっていくという生活圏の広がりについて押さえられている。 			
種 目	英 語	発 行 者	光 村 図 書 出 版 株 式 会 社
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の導入で小学校の英語の振り返りができ、小中学校の連携に配慮して、楽しく復習できるようになっている。 ・各章の導入にリスニングと想像を働かせる設問があり、大まかに英語を捉える力を身に付ける工夫がある。 ・レストランの注文や電話での会話、空港でのアナウンス、ラジオ番組の中継など、日常生活に即した題材が取り上げられ、使ってみようという意欲につながる。 ・各学年での物語の題材が、身近な題材から平和あるいは環境問題、AIなど、発達段階に考慮されたもので、多様な見方・考え方を育成できる。 			
種 目	道 徳	発 行 者	日 本 文 教 出 版 株 式 会 社
<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の学びを通して、他者と共に社会を創造し、よりよい社会の担い手になるため、一人ひとりが自信をもってよりよく生きることを目標として構成されている。 ・「プラットフォーム」で、いじめやSNSに関する問題、アンガーマネジメント、震災などが扱われており、生徒が身近な問題として具体的なイメージを持ちやすいと感じられる。 ・情報モラルについては、それぞれの学年でそれぞれの段階にある生徒が感情移入しやすいような題材を取り上げている。 ・発問が「考えてみよう」と「自分に+1」の2間に絞られており、1つ目はねらいに迫るための問い、2つ目は学んだことを生かすための問いとなっている。 			